

○ 第41回かび毒・自然毒等専門調査会

日時：平成28年9月12日（月）14：00～17：08

議事概要：

[議事1] フモニシンの食品健康影響評価について

- ・事務局より、急性毒性、亜急性毒性について説明がなされた。
- ・毒性の知見をさらに整理し、TDI（耐容一日摂取量）の設定を検討することとされた。

\*フモニシン：主にフザリウム属が産生するかび毒。

ウマで白質脳軟化症、ブタで肺水腫といった臨床症状を示し、ヒトでは神経管閉鎖障害との関係が示唆されている。

[議事2] 「佐賀県及び佐賀県内事業者が提案する養殖から提供まで管理された方法により取り扱われる養殖トラフグの肝臓」に係る食品健康影響評価について

- ・厚生労働省から提出された補足資料について、議論がなされた。
- ・今後は、提出された補足資料についての科学的な精査を進め、論点等の整理を行い、次回以降具体的な評価を進めることとなった。